

令和5年度 やまぐち若者 MY PROJECT 募集要項

1 目的

自分の身近にある課題を主体的に発見し、課題解決に向けた実践を通して、解決に向けてプロセスを描く力や失敗を恐れずに挑戦し続ける力、立場や意見の違いを超えて互いにより良い解決策を求めて話し合うコミュニケーション能力等を育成する。

また、「全国高校生 MY PROJECT AWARD 2023 全国 Summit」に出場する代表プロジェクトを選出する。

2 対象及び人数

県内の高校生またはそれに準ずる年齢の方

学校での課題研究、部活動や地域でのプロジェクト活動、個人での活動など、ジャンルを問わずプロジェクトに取り組んでいる、または取り組みたい方を対象とします。

①類型Ⅰ（10プロジェクト、20名程度）

メンター（伴走者：大学生・社会人）の伴走を希望する場合はこちらの類型をお選びください。

- ・活動期間中、各プロジェクトに専属メンター（大学生、社会人1名ずつ）がつきます。（メンターの配置は事務局が行います。）
- ・個人または2、3名程度のグループが基本です。

②類型Ⅱ（25プロジェクト、60名程度）

メンターの伴走を希望しない場合は、こちらの類型をお選びください。

3 実施概要

- ◎・・・原則参加
- ・・・任意の参加

類型Ⅰ	類型Ⅱ	開催日時（場所）	プログラム内容
◎	◎	8月5日(土) 10:00~16:00 (オンライン)	スタートアップキャンプ (DAY1) オリエンテーション 人生探究ストーリー ゲスト:(株)ゼロワンブースター 取締役 合田ジョージ氏 (山口県新たな時代の人づくりアドバイザー)
◎	—	8月6日(日) 10:00~16:00 (山口県セミナーパーク)	スタートアップキャンプ (DAY2) 対面によりメンターとの対話を通して自分の興味・関心や問題意識を一段掘り下げ、プランを磨き込む。
◎	◎	9月~1月	プロジェクト実践 それぞれの地域で大人や学校を巻き込みながらプロジェクトを実践。
◎	—		メンターのサポート 2週間に1回程度のオンライン等によるサポート。
◎	○	10月22日(日) 10:00~12:00 (オンライン)	クロスプログラム 社会人や大学生の探究の転機ストーリーを聴き、自分の実践内容について、他者からフィードバックをもらい、高校生同士が気づきや学びを共有する。
◎	◎	2月4日(日) 9:00~17:00 (予定) (山口県セミナーパーク)	やまぐち探究サミット 探究的な学びをしてきた参加者がプレゼンテーションを通してプロジェクト実践を振り返り、互いに学びあう。 「全国高校生 MY PROJECT AWARD 2023 全国 Summit」への参加チームを選出。

※「やまぐち探究サミット」で選出されたチームは認定 NPO 法人カタリバが運営する「全国高校生 MY PROJECT AWARD 2023 全国 Summit」（3月 オンライン）に参加。最優秀プロジェクトに文部科学大臣賞授与。

4 申込方法

申込責任者（担当教員等）は、山口県ひとづくり財団HP「やまぐち若者MY PROJECT」申込フォームからお申し込みください。

<https://hito21.jp/kenmin/kenmin-2412/>



[申込フォーム]

5 申込期限 令和5年6月30日（金）

6 経費等

参加料は無料です。

なお、会場までの交通費、通信料等参加に係る経費はご負担ください。

7 その他

- ・「やまぐち探究サミット」の参加については、改めてエントリー（11/1～12/10 予定）を行い、プロジェクト数の上限（35プロジェクト）を超えた場合は、類型Ⅱについて事前審査（書類選考）を行います。
- ・この事業は、山口県ひとづくり財団が主催し、一般社団法人 motibase、認定NPO法人カタリバ、山口県、山口県教育委員会と連携して実施します。
- ・各プログラム参加時にPCやタブレットなど通信機器やネット環境が必要になります。参加者のネット環境については、参加決定後に確認し、事前に接続テストを行います。
 - 使用予定のツール：ビデオ会議システム(Zoom)、コミュニケーションツール(Slack)
 - 使用機器：タブレット・PC（カメラ・マイクの機能付属）などの大きな画面で、一人1台が望ましい。
 - 通信環境：Wi-Fi環境があることが望ましい(Zoomは3時間で1GB程度)。
- ・天候、その他の事情により、内容、時間等を変更する場合があります。

【メンターとは】

参加者の実践に寄り添いながら、経験と学びを最大化させる存在です。また、実践と学習のサイクルの中で、状況に応じて次のような役割を担います。

- (1) 寄り添う/引き出す
 - ・参加者の言語化の支援や、不安に感じている際の勇気づけなどを行う。
 - ・参加者の主体性を大切にし、それを引き出す姿勢で寄り添う。
- (2) アドバイスする
 - ・アイデアを形にしたり、チームビルディングを行ったりする際に、観点や知識の補充を行う。
- (3) コーディネートする
 - ・社会での実践を実現するために、計画立案の支援や、外部とのつながりの提供、アポイントメントを取る際の支援等を行う。
- (4) 振り返りを促す
 - ・実践の途中や、実践後に振り返りの場を設定する。
 - ・プロセスや実践で何ができたのか、できなかったのか、またそれらから何を学んだのかについて、整理を手助けする。

【申込み・問合せ先】

(公財)山口県ひとづくり財団 県民学習部

担当：梶山、浅本、中村

TEL 083-987-1710 FAX 083-987-1760

Email yamashogai001@gmail.com